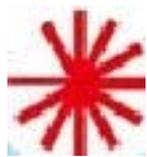


2017<sup>9</sup>月



# 原水協通信

原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033



原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

## 世界同時行動「平和の波」成功させよう

# 9月20日～26日府下一斉に

核兵器禁止条約が採択された直後の歴史的な原水爆禁止2017年世界大会は、大きな成功を収め、八月九日に幕を閉じました。世界大会には大阪から広島大会に73名、長崎大会に302名が参加し、計375名が参加しました。長崎大会・閉会集会には、核兵器禁止条約の調印が始まる九月二十日から国際核兵器廃絶デーの九月二十六日を「世界同時行動・平和の波(ピースウェーブ)」行動が呼びかけられました。大阪での取り組みの成功が求められています。

### 広島大会 大阪代表団が決意表明

八月六日、広島大会での各地の取り組みの紹介が行われ、大阪代表団が登壇。二十名の若い参加者とともに岩田幸雄理事

長が決意表明。「核兵器禁止条約の採択の歴史的情勢を力に、ヒバクシャ国際署名を今年中に三十万筆に達成できるように奮闘します」と、力強く決意表明を行いました。

### 中満 泉・国連 軍縮上級代表に 大きな拍手

広島大会では、国連を代表して、中満 泉・軍縮上級代表が演説。今回の核兵器禁止条約の採択に努力。この奮闘に対して、参加者から大きな拍手で迎えられました。「核兵器禁止条約は、核兵器に依存する国々への警鐘です」。また、

### 「平和の波」 を成功させよう!

長崎大会閉会集会では、「全世界

「条約の核心は、核兵器を否定しそれを国際法として成文化した点にありま

同時行動の平和の波行動を成功させ、すべての国が核兵器禁止条約に調印・批准する運動を繰り広げましょう」と安井正和・大会実行委員会事務局長から訴えられました。

大阪原水協は、この提起を積極的に受け止め、大宣伝を計画。条約調印が始まる九月二十日には、ナンバ高島屋前で、最終日の国際核兵器廃絶デーの二十六日には梅田ヨドバシカメラ前で午後六時から七時までの大宣伝の予定です。みなさんの参加を呼びかけています。



☆2017年原水爆禁止世界大会・長崎大会での成功を祝うファイナーレ

### 平和の波行動計画

○9月20日(水)午後6時～7時  
ナンバ高島屋前  
100人署名大宣伝行動

○9月26日(火)午後6時～7時  
梅田ヨドバシカメラ前  
100人署名宣伝行動



☆広島大会での大阪代表団



☆大歓迎された中満 泉・国連軍縮上級代表

ヒバクシャ国際署名到達

# 15万5648筆

9月度6・9行動

☆9月6日(水)12時～

上本町近鉄百貨店前

# 平和を願う人々がこんなに沢山いる！

## 感動の感想文1000名から寄せられる

世界大会の感想文が大原水協に届けられています。届けられた感想文は約百通に達し、今「感想文集」が準備されています。届けられた感想文の一部を紹介します。

○高橋真澄さん 西淀川原水協 広島大会  
大会発言の中で、オーストリア代表が「核兵器禁止条約が採択されたことを各国に

○行天真一郎さん 大阪民医連 けいはん医療生協 長崎大会  
八月九日の記念式典で、田上・長崎市長は、ヒバク

○阪田光代さん 新婦人大東支部 長崎大会  
私が一番感動したことは若い人の参加が多いことでした。小学生も発言し、中高校生も堂々と発言する姿を見て、未来が大きく広がった気持ちになりました。

○境田克己さん 北区平和委員会 広島大会

○前川奈緒さん 日本共産党寝屋川市議 広島大会

批准するよう迫っていきます」の発言がすごく印象に残りました。日本政府に見習ってほしい！と心から

シヤ代表として、核兵器禁止条約の調印・批准を世界に働きかけていくと宣言。これに対して、安倍首相は

「女性交流のつどい」でイギリスから一般参加された方は、2015年平和行進に参加、その後、三次市に移住してこられた話にビックリ。しかも、最近、新婦人に入会されたことを聞いて、とても楽しく嬉しくなりました。

生まれて初めて世界大会に参加しました。原爆ドーム、原爆資料館を見て原爆の恐ろしさが、はつきりわかりました。日本での平和行進や署名活動を自信を持ってやっています。

大会の中で、日本被団協の田中さんが「こんなに国際条約として締結されたことは夢のよう」と話されていました。被爆者の方々の心中を思うと、私自身も感無量になりました。

「ウイ シヤル オーバークム」に感動しました。

国民の代表ではありません



☆2017年広島大会ピースアクションの子どもたち。平和の未来へはばたけ折鶴！



☆長崎大会での12年間、原爆訴訟を闘った松谷英子さんとアバッカ・アンジャンさん(マーシャル諸島代表)の連帯



☆「核兵器禁止条約」へ世界をリードしたオーストリア、マルチン・クルーガー公使(中央)。世界大会で笑顔がはじけました。